

令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立阿賀中学校
(阿賀中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学	理科
呉市教育振興基本計画(指標)	+5.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	-	-	-
令和6年度	-	-	-
令和5年度	-	-	-
令和4年度	+5.0	+9.6	+5.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 74% 全国 69% 県 69%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。(正答率 49.4%) ◇ 表現の技法について理解することに課題がある。(正答率 48.1%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎ 根拠を明確にして書く際には、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、文章中に根拠を示すことが大切であることを留意させ、複数の資料と関連付けて考えを書く学習活動を設定する。 ◇ 知識として理解するだけでなく、実際の自身の文章の中で使ってみたり、他の教材で表現技法が使われていたりする部分を見つけさせる活動を仕組み、反復して知識の定着を図る。</p> <p>検証</p> <p>◎ 全国学力(設問2三)(第2~3学年, 2月)目標 55%→ 全国学力(設問2三)の類似問題(第2~3学年, 2月)目標 55%→ ◇ 全国学力(設問3一)の類似問題(第2学年, 2月)目標 55%→</p>
<p>数学</p> <p>本校 61% 全国 51.4% 県 50%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。(正答率 17.5%, 無回答 13.8%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理して着目すべき性質や関係を見出したりする活動を取り入れる。 ◇筋道を立てて考えたり、数学の用語を使って簡潔に表現したりする活動を取り入れる。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問9(2))の類似問題 第2学年, 12月)目標 25%→</p>
<p>理科</p> <p>本校 55% 全国 49.3% 県 49%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇事実的な知識を既有的な知識と関連付けたり活用したりする中で、他の文脈で活用できる程度に概念等を理解することに課題がある。また、事象の観察から抽出した要因や実験の結果などの情報を分析して解釈し、判断したり推論したりすることに課題がある。(設問5(1), 正答率 18.3%)(設問2(1), 正答率 43.9%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇日常生活や社会を題材として課題を設定し、その中から科学的概念を取り上げることで実感を伴った理解を図る。また、ドリル学習等で反復して概念の確実な定着を図る。 日常から出た疑問を科学的に探究する過程の中で、観察・実験から得られた結果を身に付けた科学的知識や概念を活用して考察する学習場面を繰り返し設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問2(1), 設問5(1)の問題 第3学年, 10月, 12月, 1月)目標 60%→</p>

【来年度に向けて】